



National Center
Biobank Network

ナショナルセンター・
バイオバンクネットワーク

国内6つのナショナルセンターは、国民の健康に重大な影響のある特定の病気を解明し克服することを使命として設立され、それぞれが専門とする疾患関連の生体試料・情報を蓄積するバイオバンクを備えています。
6つのバイオバンクは相互に連携して情報を共有するナショナルセンター・バイオバンクネットワーク(NCBN)を構成しています。



国立長寿医療研究センター



国立精神・神経医療研究センター



国立循環器病研究センター



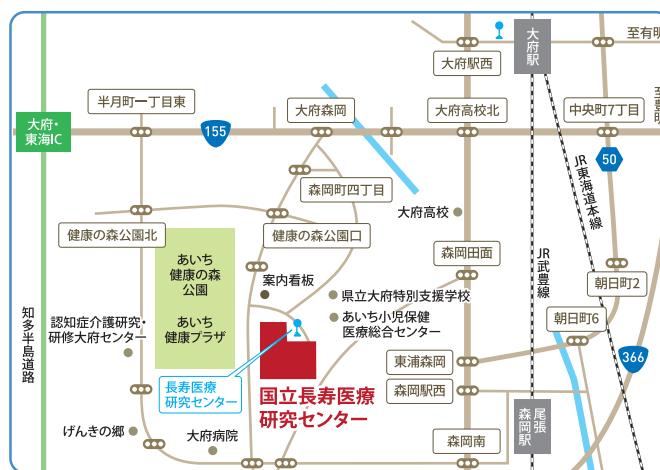
国立成育医療研究センター



国立がん研究センター



国立国際医療研究センター



アクセス

- JR東海道本線 大府駅(西口)から**
 - ・知多バス「大府(循環)線」「長寿医療研究センター」下車
 - ・タクシー 長寿医療研究センターまで約8分
- JR武豊線 緒川駅(東口)から**
 - ・東浦町運行バス「1. 長寿線」「長寿医療研究センター」下車
 - ・タクシー 長寿医療研究センターまで約10分
- 大府市内から**
 - ・大府市循環バス「長寿医療研究センター」下車
- 東浦町内から**
 - ・東浦町運行バス「長寿医療研究センター」下車

国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
National Center for Geriatrics and Gerontology

〒474-8511 愛知県大府市森岡町七丁目430番地
ホームページ <https://www.ncgg.go.jp>

Biobank

TEL (0562)46-2311(代表) 内線(6606)
FAX (0562)48-2373



バイオバンク
トップページ



ナショナルセンター
バイオバンクネットワーク

あなたから未来への贈り物

バイオバンク Biobank



国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
National Center for Geriatrics and Gerontology

バイオバンク事業への、ご参加をお願い申し上げます。

元気で長生きできる医療、高齢者にふさわしい医療とは何か、これらを実現するためにはどうすればよいか、国立長寿医療研究センターでは病院と研究所が一体となって追求しています。

国立長寿医療研究センターは、国内に6つある国立高度専門医療研究センター（ナショナルセンター）の一つとして、バイオバンクを運営し、皆さまからご提供いただいた血液や組織、診療や検査の記録（情報）を保存し、がんや心臓病、認知症などの疾患に対する新しい診断法・治療法をみつける研究を行っている研究者に提供しています。できるだけ多くの情報を収集し分析することが、病気の原因解明、新たな治療法、治療薬開発（創薬）につながります。

皆さまのご協力なくしては、これから的新しい医療を開発することはできません。当センターの使命をご理解の上、本事業にご協力いただきますようお願い申し上げます。

お願いの主な内容

- ① 約20ml程度の血液を分けてください（病院受診の方）。
- ② 研究説明文等にある量の血液を分けてください（研究参加者の方）。
- ③ 検査の余剰検体を保存させてください。
- ④ 診療・検査情報、血液などの解析/分析情報（遺伝子配列情報を含む）を活用させてください。



皆さまからの、かけがえのない未来への贈り物です。

患者の皆さまや研究参加者の皆さんにご提供いただく血液、尿、髄液、体の組織などの試料や情報等（診療・検査情報、遺伝子配列情報を含む試料の解析/分析情報）を収集、保管して、将来に計画されるものを含む国内外の多くの研究に広く配布（分譲）することで病気の成り立ちや、治療法開発に活用する、この仕組みを「バイオバンク」と呼んでいます。

バイオバンクは、ご協力いただいた方あるいは特定の個人のためのものではありません。あくまでも私たち人類の未来、皆さま方のご子孫に役立つことを目標に事業を進めております。

無償の原則で行っておりますので、ご協力いただいたことへの謝金のお支払いはございません。また、試料の分析等にかかる費用のご負担をお願いすることもありません。

バイオバンクの活用から期待される成果

- 新しい治療薬・治療法・予防法の開発
- 新しい診断法・検査法の開発
- 予防や治療の予後に役立つバイオマーカーの開発
- 医学・医療・医学教育の質・技術・レベルの向上



バイオバンク事業の説明・同意から検体採取、研究者への提供までの流れ

Registration process

バイオバンクでは、患者・研究参加者の方々から試料・診療（検査）情報を提供いただくために、ご本人（場合によってはご家族の方）の同意をいただいております。バイオバンクへの参加についてはバイオバンクスタッフが説明をいたします。研究参加者の方へのお願いは、研究スタッフから説明があります。以下にバイオバンク事業の説明・同意から検体採取、研究者への提供までの流れを説明いたします。



診療録

皆さま

説 明

担当者から詳しい説明をお聞きください。
疑問点がありましたらご質問ください。

同 意

バイオバンク事業に参加しても良いという場合、意思確認書に同意したことを記してください。病歴や喫煙・飲酒など生活習慣についてのアンケートにもお答えください（研究参加者の場合は、研究内容により、質問の内容が異なる場合があります）。

採 取

バイオバンク保存のための採血（20ml程度）をさせていただきます（研究参加者の場合は、研究計画に従います）。

匿名化

提供いただいた試料・情報等から氏名や住所、生年月日など個人を特定する情報を削除し、無関係な記号や番号に置き換えて保存します。
(個人情報の保護)。

医学研究者

医学の発展

将来の医学・医療の発展に活用できるように、試料の解析/分析情報等の一部は公的な研究用データベースに登録され、二次活用されることがあります。

研究報告

試料・情報等を活用して得られた研究成果は、学術論文や学会発表の形で公表されます。

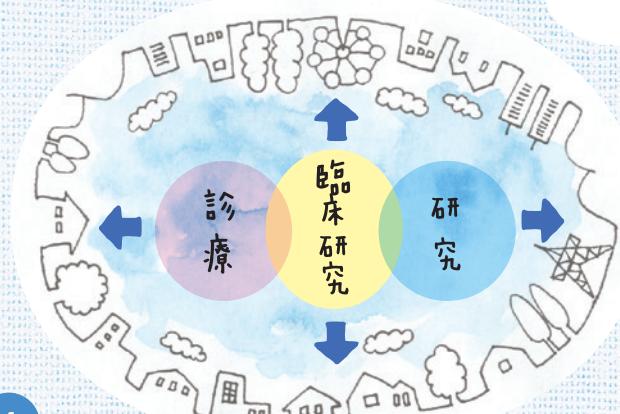
医学研究

所定の手続きと審査を受けた研究課題に試料・情報等が提供され、研究が開始されます（提供先は、国や民間の研究機関・大学・製薬会社などを含みます）。

倫理委員会

皆さまの尊厳と人権を尊重し、倫理指針に沿って研究に使用することの可否を審査します。

国立長寿医療研究センター National Center for Geriatrics and Gerontology



National Center Biobank Network ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク

※詳細は裏表紙参照

Biobank

試料の情報 利活用の情報



よくあるご質問(FAQ)

Question and Answer

Q バイオバンクに参加すると何をすれば良いですか?

- ・血液を20mlほど分けていただきます。
- ・検査の余剰検体や摘出した組織の一部を保存させてください。
- ・診療・検査情報、試料の解析/分析情報(遺伝子配列情報を含む)を活用させてください。

Q バイオバンクへの参加は強制ですか?

いいえ。

参加は強制するものではありません。ご本人や場合によってはご家族の意思により自由にお決めいただけます。この事業の趣旨にご賛同いただけましたらご協力をお願いいたします。一方、不参加の場合でも、それによって当センターにおける治療や診察の中で不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

Q 個人負担はありますか?

いいえ。

バイオバンク保存のための採血(約20ml)については費用負担はありません。

Q プライバシーは守られますか?

はい。

バイオバンクに参加された皆さま方のプライバシーを細心の注意を払って保護しております。住所・氏名など、個人を特定する可能性のある情報は、無関係な記号や番号に置き換える処理を行って管理されますので第三者が個人を特定することはできません。

Q 参加の同意は取り消すことができますか?

はい。

いつでも同意を取り消すことができます。取り消しの意思が確認されましたら、保管している試料(血液など)や情報等は廃棄いたします。ただし、すでに研究に活用されている場合は、廃棄することはできません。



Q どこで、どのように使用されるのですか?

当センターを含む国内外の研究機関で使用されます。

バイオバンクにご提供いただいた血液などの試料や情報等は、当センターや研究者が所属する機関の倫理委員会で承認された研究に使用されます。センター内の研究に限らず、国内外の大学や研究所、薬や医療機器をつくる民間企業などが行う研究にも使用させていただく場合があります。たとえば、認知症の原因を探る基礎的な研究、骨そしょう症のお薬の開発研究、病気の早期発見のための新しい検査方法の研究、生活習慣改善による予防法の研究などがあります。

Q 行われている研究について知ることはできますか?

はい。

ご参加いただいた皆さまの試料・情報等を用いて行われる研究課題については、当センターバイオバンクホームページの『実施中の研究課題』でご覧頂けます。研究内容に関するご質問・ご意見がございましたら、お問い合わせ窓口にてお受けいたします。

Q 研究成果を知ることはできますか?

はい。

バイオバンクの試料・情報等の利活用で得られた研究成果は、学術論文や学会発表の形で公表されます。学術論文タイトルについてはバイオバンクのホームページでも閲覧できます。

Q 知的財産(特許など)の権利はありますか?

いいえ。

研究によっては、成果に対して知的財産権が発生することがありますが、この権利は、研究を行った研究者や研究機関に帰属することになり、ご提供者に帰属することはありません。